

方 紙 Q 成にと費のか社 A 設の差い Q え A Q  
が パ 病 制 係 、の確る会市をたを貧ひ て 県 福  
、ン 気 度 る \* 公保た的長。め防困と い 岡  
捨 ツ 等 を 初 養 正はめ自 ぐにり親 く 必要大橋  
て を で 創 期 育 証 必の立養 各たよ親 て 拡幅  
る 使 尿 設 費 費 書 要費を育 種ため世 高  
場 用 取 し 用 保 作 で用す費 支子子帶高  
所 さ り た の 証 成 あ でるは 援養供草  
に れ パ い 新 契 費 る ま 子 事育の木  
困 て ッ 。た 約 用 。養 でども業費教良  
る い ト な 締 助 養 育 に もが 創保格江  
ケ る や 助 結 成 育 費 掛 が

問用患者 A み援にて宅 Q 関設の今現性 A ニトイ  
看し者市込事な経療 3 係置未回の向市 タイス  
護、在長ん業つ済養 9 各し設の觀上長 リレが  
な身宅でのて的は歳所た置質点やト  
ど療群い予い負、以に。の間か地施ボ男  
、回養馬た算る担介下広ま男をら域設ツ性  
家り支県だを。が護のがげた性受必共利クト  
族の援のき来在大保がて順用け要生用スイ  
の世事若た年宅き険んい次ト、で社者のレ  
負話業年い度療く適患き、イ4あ会の設  
担やをががに養問用者た市レ序るの利置  
軽訪活ん。組支題外在い内に舍。実便サ  
ト  
。

ク **Q** い る 活 い の 県 形 幹 全 わ **A** や の 元 は **Q** ら 減  
シ 北 き 都 用 き 必 へ や 線 確 せ 市 国 外 住 渋 福 実 を  
ト 部 た 市 し 、 要 福 構 道 保 て 長 に 付 民 滞 岡 施 図  
の の い 基 、 様 性 岡 造 路 が 自 予 け の や 大 橋 に り  
よ 観 。 盤 本 々 を 大 が と で 転 塩 算 な 声 危 橋 向 た  
う 光 の 市 な し 橋 必 一 き 車 原 要 ど は 険 が け い  
な 振 整 の 機 つ 拡 要 体 る や 工 望 の 大 が 現 調 。  
第 興 備 未 会 か 幅 だ と よ 歩 区 を 整 き 生 状 整 令  
2 に を 来 や り 整 。 な う 行 開 。 備 い じ の し 和  
の 観 図 に 手 伝 備 今 つ 、 者 通 等 。 る ま た 5  
交 光 つ 繫 段 え 計 後 た 渡 の に を 歩 と ま い 年  
通 タ て が を て 画 、 線 瀬 安 合 県 道 地 で 。 か

発結＊活過把交と有地 A 力光債 Q もる第 A 対  
生に民用疎握通考効域市を振の東聞よう2市長が  
しよ間し対しをえでの長入興利・きう、交  
たり会て策、含て最課過れな用大検討民通み  
際、社い事計めい大題過てどで間討民通対み  
に養とき業画たる限解疎い北、々し間対み  
、育保た債に地。に決対た部交町て事策りは  
そ費証いを盛域今活、策だの通のい業が市。  
のの契。効りの後用活事き活対過き者確に  
養未約果込実、し性業た性策疎たの保合  
育払を的ん情公た化債い化や対い意でつ  
費が締にでを共いにはがに観策。見きた

。

証が  
料立  
を替  
補え  
助ら  
すれ  
るる  
。仕  
組み  
の保